

Cannonball Run'94~'95 One Lap of Japan



総合獲得ポイント&ランキング結果発表!

新世代チューニングの快感度を、走り込んで実践した、新時代のチューナー'sキャノンボール・ラン=ワン・ラップ・オブ・ジャパン。東西2400km走破のマルチステージ、ジムカーナ、ヒルクライム、ゼロヨン、ドリフト・パフォーマンス、サーキットタイムアタック、そして最高速、その全ステージをロングツーリングで結び、チューンドパワーやマシンの耐久性、快適性の真価をバトル。各ステージでの迫真のバトル模様は前号(OPT1月号)にてレポートしたとおりだが、いよいよその総合獲得ポイントを集計し、ファイナル・リザルトを発表といこう! そしてその結果、'95東京オートサロン('95年1月6~8日/東京・晴海)会場特設ステージにて、そのチューナー達の栄誉を讃え、表彰式をとり行うことも決定だ! ワン・ラップ・オブ・ジャパンでの死闘や、本に載らなかったウラ話なども、バッチリアクセスできる、ワクワクニュースだぜ!



東西2400kmのマルチステージで、チューンドパワーの真価をバトルしたチューナー'sキャノンボール・ラン。スピード・ハンドリング・加速G・減速キャパシティー・ロングランによる耐久性、そして快適性までもが、新時代のチューンドパフォーマンスとして問われるのだ。



5日間でラリー区間に設定されたルート約2400kmを走破。その間に、ジムカーナ(谷田部)、ヒルクライム(仙台ハイランド)、ゼロヨン(仙台ハイランド)、ドリフト・パフォーマンス(エビスサーキット)、サーキットタイムアタック(サーキット英田)、最高速(谷田部)の6ステージでパフォーマンスを凌ぎ合ったワン・ラップ・オブ・ジャパン。各ステージ競技で勝つことは必要条件となるが、その速さだけでは、ワン・ラップ・オブ・ジャパンを制することはできない。

クニックもキーポイントなのだ。クルマの楽しさを思う存分謳歌したチューナー達、完走した面々は、すべてが勝者であることを念頭に、各ステージのポイントを集計し、総合順位を決定した。

各ステージ競技での獲得ポイントは、それぞれのタイムなどの計測データに、各ステージごとに設定された係数をかけ(これは、それぞれの競技での最上位と最下位の得点差が各ステージでなるべく平均化するようにするため)、算出したものを得点として集計。つまり、単に順位による得点ではなく、その競技でのタイム(または速度)差が、そのまま総合得点に反映するようにになっているのだ。

そして、この競技ステージでの得点にツーリング区間で計測した燃費ポイントを加算、さらに、全行程を通じてのアドバンテージやペナルティによる加減点ポイントも加え、そのすべてを集計して総合順位を決定した。

ひとつのステージ競技で飛び抜けて優れていれば一発逆転もあり得たわけだが、同様に苦手なステージを持てばそれが致命傷にもなる。結果、すべてのフィールドにおいて持てるポテンシャルを十分に発揮できることが、勝利につながったと言えるだろう。が、それはロングツーリングをこなしてこそそのチャレンジであり、決してスプリント・スペシャルじゃない、チューニングの完成度を新たに証明したと言えるのではないだろうか!

また、OPTIONは、キャノンボール・ランに挑戦したい。自分のクルマで、公道を思いっきり走れる、それが走り屋の夢でもある。

今回のこのワン・ラップ・オブ・

ワンラップ・オブ・ジャパン ステージ別リザルト&獲得ポイント

Tuners'

Stage1 ジムカーナ in YATABE

順位	エントリー	マシン	タイム	ミス	総合タイム	係数	ポイント
1位	マインズ	GT-R	1分49秒258	0	1分49秒258	× (-1)	-109.258
2位	エスプリ	シルビア	1分54秒739	0	1分54秒739		-114.739
3位	圭オフィス	シルビア	1分55秒860	0	1分55秒860		-115.860
4位	Dai	セリカ GT-FOUR	1分56秒996	0	1分56秒996		-116.996
5位	ガレッジ福井	MR2	2分05秒189	0	2分05秒189		-125.189
6位	HKS関西	ランサーエボリューション	1分55秒813	1	2分25秒813		-145.813
7位	ブリッツ	セリカ GT-FOUR	2分07秒584	1	2分37秒584		-157.584
8位	レイブロス	スープラ	2分06秒353	2	3分06秒353		-166.353
9位	RE南宮	FD3S	2分18秒608	4	4分18秒608		-258.608
10位	トリアル	GT-R	1分41秒002	6	4分41秒002		-281.002

ステージをマルチに制覇した、トリアルGT-Rが勝利、が、その差は伯仲の激バトルだったのだ!

Stage2 ヒルクライム in HiLand

順位	エントリー	マシン	タイム	係数	ポイント
1位	トリアル	GT-R	34秒937	× (-30)	-1048.11
2位	マインズ	GT-R	35秒061		-1051.83
3位	HKS関西	ランサーエボリューション	37秒252		-1117.58
4位	Dai	セリカGT-FOUR	38秒702		-1161.06
5位	ブリッツ	セリカGT-FOUR	38秒057		-1171.71
6位	圭オフィス	シルビア	39秒494		-1184.52
7位	レイブロス	スープラ	39秒575		-1187.25
8位	エスプリ	シルビア	40秒803		-1224.27
9位	ガレッジ福井	MR2	41秒180		-1235.40

RE南宮: リタイア

Stage3 ゼロヨン in HiLand

順位	エントリー	マシン	タイム	係数	ポイント
1位	トリアル	GT-R	11秒580	× (-70)	-809.20
2位	マインズ	GT-R	11秒657		-815.99
3位	ガレッジ福井	MR2	12秒342		-883.94
4位	HKS関西	ランサーエボリューション	13秒186		-823.02
5位	エスプリ	シルビア	13秒193		-823.51
6位	Dai	セリカ GT-FOUR	13秒824		-853.68
7位	ブリッツ	セリカ GT-FOUR	13秒633		-854.31
8位	圭オフィス	シルビア	14秒040		-882.80
9位	レイブロス	スープラ	14秒293		-1000.51

RE南宮: リタイア

Stage4 ドリフト・パフォーマンス in EBISU

順位	エントリー	マシン	読者投票ポイント	係数	ポイント
1位	トリアル	GT-R	9.50	×40	380.0
2位	圭オフィス	シルビア	8.08		323.2
3位	レイブロス	スープラ	7.30		292.0
4位	Dai	セリカGT-FOUR	7.00		280.0
5位	HKS関西	ランサーエボリューション	6.15		246.0
6位	マインズ	GT-R	5.78		231.2
7位	ブリッツ	セリカGT-FOUR	5.5		220.0
8位	ガレッジ福井	MR2	5.09		203.6

エスプリ、RE南宮: リタイア

Stage5 タイムアタック in TI

順位	エントリー	マシン	ラップタイム	係数	ポイント
1位	トリアル	GT-R	1分52秒291	× (-10)	-1122.91
2位	レイブロス	スープラ	1分55秒090		-1150.90
3位	マインズ	GT-R	1分58秒258		-1182.58
4位	HKS関西	ランサーエボリューション	2分04秒406		-1244.06
5位	圭オフィス	シルビア	2分06秒714		-1267.14
6位	ブリッツ	セリカGT-FOUR	2分07秒225		-1272.25
7位	ガレッジ福井	MR2	2分10秒984		-1309.84

RE南宮、エスプリ、Dai: リタイア

Stage6 最高速 in YATABE

順位	エントリー	マシン	最高速	係数	ポイント
1位	トリアル	GT-R	302.80km/h	× 3	908.70
2位	レイブロス	スープラ	295.57km/h		886.71
3位	ガレッジ福井	MR2	295.37km/h		856.11
4位	Dai	セリカGT-FOUR	247.08km/h		741.24
5位	ブリッツ	セリカGT-FOUR	242.58km/h		727.77
6位	HKS関西	ランサーエボリューション	240.00km/h		720.00
7位	マインズ	GT-R	239.44km/h		718.32
8位	圭オフィス	シルビア	238.33km/h		714.99

RE南宮、エスプリ: リタイア

All Stage ツーリング

順位	エントリー	マシン	参加ポイント	燃費	アドバンテージ	ペナルティ	総獲得ポイント
1位	マインズ	GT-R	5000	92	30	0	5122
2位	レイブロス	スープラ	5000	82	0	0	5082
3位	圭オフィス	シルビア	5000	97	0	-30	5067
4位	HKS関西	ランサーエボリューション	5000	83	30	-60	5053
5位	Dai	セリカGT-FOUR	5000	0	0	0	5000
6位	ブリッツ	セリカGT-FOUR	5000	0	0	-30	4970
6位	ガレッジ福井	MR2	5000	0	0	-30	4970
8位	トリアル	GT-R	5000	0	0	-90	4910

RE南宮、エスプリ: リタイア

*参加ポイントは、ツーリングに参加した時点ですべてのエントリーに与えられる持ち点。燃費は、各店舗から仕入れ、エビス経由T1サーキットまでの測定区間(約1450km)での燃料消費率(km/l)に係数10をかけたものを加算ポイントとした(ただし、申告遅れ等により燃費計算不能となった場合は0ポイント)。アドバンテージは、マインズのドリフト専用ROM、HKS関西の高がドリフトでウケて、それぞれ30ポイント獲得。ペナルティは、圭オフィス、ガレッジ福井が規定時間内到着規定の遅刻1回でそれぞれマイナス30ポイント、ブリッツがT1での赤旗無視でマイナス30ポイント、同じくHKS関西も赤旗無視、さらに遅刻1回で合わせてマイナス60ポイント、トリアルはツーリング区間ルートミス3回でマイナス90ポイント、それぞれ減点となった。

総合結果

順位	エントリー	マシン	合計獲得ポイント
1位	トリアル	GT-R	2837.478
2位	マインズ	GT-R	2811.852
3位	レイブロス	スープラ	2735.697
4位	HKS関西	ランサーエボリューション	2588.547
5位	圭オフィス	シルビア	2554.880
6位	ガレッジ福井	MR2	2495.541
7位	ブリッツ	セリカGT-FOUR	2381.906
---	Dai	セリカGT-FOUR	Stage5リタイアのため集計できず
---	エスプリ	シルビア	Stage3後リタイア
---	RE南宮	FD3S	Stage1後リタイア

*チャレンジャーはRE南宮自動車・南宮勇美 (RX-7)/エスプリ・前川 勝 (シルビア)/HKS関西サービス・向井敏之 (ランエボ)/ガレッジ福井・横山耕治 (MR2)/圭オフィス・北原慎一 (シルビア)/トリアル・牧原道夫 (GT-R)/ブリッツ・金子 豊 (セリカ)/マインズ・新倉通康 (GT-R)/レイブロス・新波真澄 (スープラ)に、特別参加: OPTION・稲田大二郎 (セリカ)が加わり、競技やツーリング区間において、ポイント争いを展開。

初戦ジムカーナ終了後、RE南宮の離脱により、9台によって競技が行われ、そして、ゼロヨン終了時点で、エスプリもリタイア。8台に絞られたポイント争戦は、最終ステージまでもつれ込んだ。

競技獲得ポイントでは、5ステージでトップになったトリアルがダントツ。しかし、各ステージをそれぞれこなし、ツーリング・ステージでも確実にポイントを獲得、結果1位のトリアルにわずか25ポイント差の2位となった。この差はツーリング区間の加減点の設定いかんでは、十分逆転の可能性もあったものだった。

競技ステージにおいて、速く走ることは必要条件のチューナー・Sキャノンボール。でもそれだけではポイントには届かない。ラリー区間とも言えるツーリングステージをも含め、バランス良くこなせるか、あるいはダントツの得意技を発揮できるかが、魅力のチューンド・パフォーマンスなのだ。今回は結果的にはGT-R勢が1、2位を独占したが、決して2位以下に大差を付けた訳ではないのだ。

現代の交通事情では限界かもしれない。しかし、各競技ステージを結ぶ公道にあって、もつともつとエキサイティングなクルマとの楽しみ方があるはずなのだから...

現代の交通事情では限界かもしれない。しかし、各競技ステージを結ぶ公道にあって、もつともつとエキサイティングなクルマとの楽しみ方があるはずなのだから...



ラリー区間に設定された公道では、入場券も事前に購入が必要だ。

ザ・プロフェッショナル・ タイム★バウト

トラスTRUST GReddy RXのたたき出す
スーパーラップへ、挑戦してくれっ!

ザ・挑戦!

in 大分阿蘇レーシングパーク

(全長:4674m/コース幅:12~15m/最大傾斜:UP=7.2%、DOWN=10%)

BIGシングルターボ仕様のオールラウンドRXに、
仕様の色こそ違えど、同じくBIGシングルターボ仕様、
マッキー・トリアルRがザ・挑戦!
お互いの出方(タイム)を見つめの真剣勝負に、
スーパーチューンドGT-Rの魅力を確認! だ。

大分&熊本の県境山中に、ドーンと広がるサーキット、大分阿蘇レーシングパークで繰り広げられたザ・挑戦ノ 4発目。
ストリートをメインに、最高速、0-300km/h、0-400m、そしてサーキットと、オールラウンド制覇の巨匠、GReddy RXに、夕陽迫る南端のサーキットへ挑戦状を掲げて登場は、OPT流キヤノンボール「One Lap of Japan」で総合優勝をゲット、まったくもってただ今絶好調!! の、トリアルGT-Rだ。
結果、コンマ2秒の僅差でボディチューンプラスのトリアルに軍配が上がった。
が、しかし、それにしてもこのザ・挑戦ノシリーズ。スーパーチューンドマシン達の限らない可能性を求める、熟成セッティングのチャレンジも興奮だノ

TRUST GReddy RX

タイム: 2分08秒80

ドライバー: 小林 "イソノ" 且雄
(ドライ/RE710/'94.10.29.)



トリアルGT-R

タイム: 2分08秒60

ドライバー: 金口憲司
(ドライ/グローバ/'94.10.29.)



ライトチューンドGT-R参考タイム

OPTやすのGT-R

タイム: 2分16秒90

ドライバー: 小林 "イソノ" 且雄
(ドライ/グローバ/'94.10.29.)



挑戦マシン・新レギュレーション

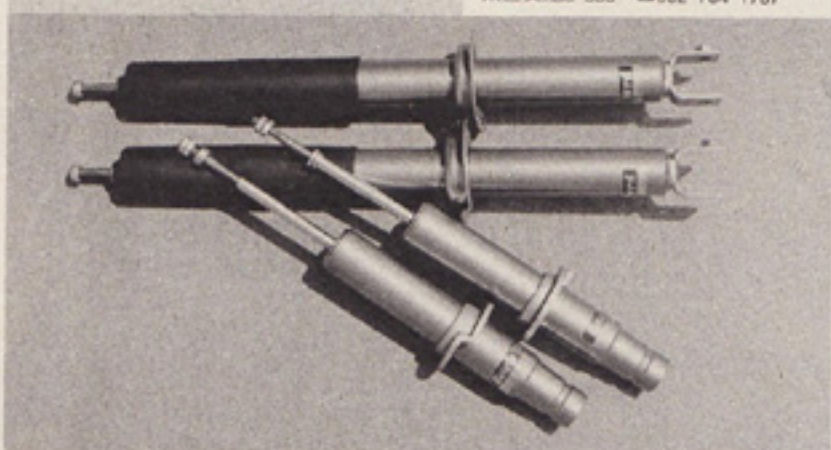
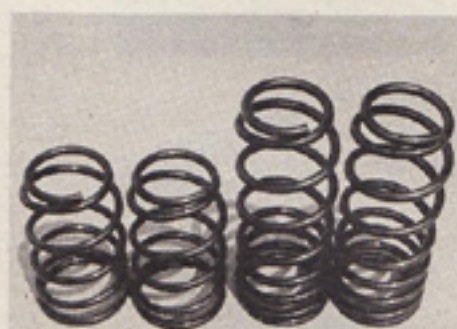
- ・ナンバー付きなら車種不問。
- ・ドライバー制限一切ナシ。
- ・タイヤは市販ラジアルのみ。ただし、参考タイムチェック用としてなら、レーシングスリックやセミスリックの使用はOK。が、あくまでも参考タイムとする。

撃破
タイムは、
ココ一発勝負の
限界ランで、
ゲット!

車高ダウン& 減衰力アップで NSXの足ワザ向上

ホンダNSX用オリジナルパーツ2点。スナップ式車高調整を採用のスポーツダンパーは、ビルシユタイン製大容量タイプ。ノーマルの約30%の減衰力アップが可能となる。そして、バネレートがノーマルの15%アップとなるヨーロピアンサスペンションは、スプリングの遊びなしで車高を20〜30mmダウンさせられるゾ。

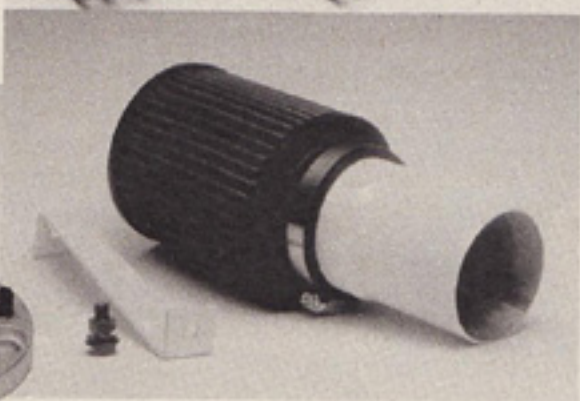
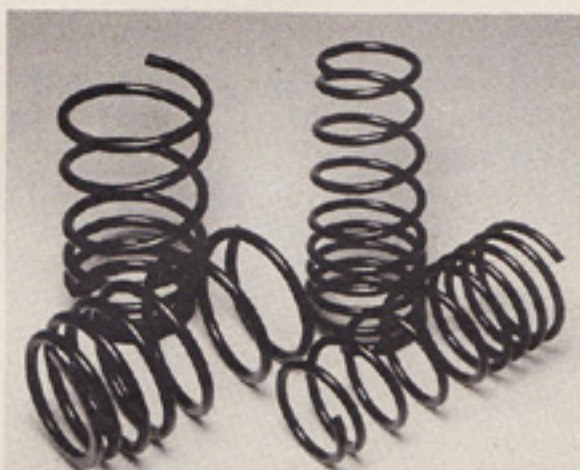
NSX用 スポーツダンパー 28万円
ヨーロピアンサスペンション 7万8000円
●問い合わせ Back Yard SPECIAL 〒485愛知県名古屋市長東区南63-808 ☎052-704-1707



足から吸気までセリカを チューニング

ST202/205セリカ用パーツがウェイグライドから新登場だ。30mmの車高ダウンが可能なら、ダウンサス、片側25mmのワイド化ができるワイドトレッドキット、スピードリミッターキャンセラー、そしてK&N社製フィルターを使用し、パワーアップが可能なエアフィルターが4アイテムをラインアップ。

Z-GLIDE ST202/205(GT-Four)セリカ用パーツ ローダウンサスペンション ST202ノーマルストラット専用 4万2000円 ワイドトレッドキット 2万3000円(2枚セット) スピードリミッターキャンセラー ST202.3SG用 1万2800円 エアクリナー ST202.3SG用 1万9800円
●問い合わせ ウェイグライド 〒148東京都大田区多摩川2-20-23 ☎03-3750-1941



TEST & CHALLENGE

トライアル スーパーシューズ サイズ25~27.5cm 価格1万6000円

レーシングシューズと
バスケットシューズの
イイところをいただき!
タウン、サーキット、峠、
どこでも使えるマルチシューズだ!



カカとの部分はこの通り。日本では少ないけど、海外ではこんなドライビング&タウンシューズがかなり人気があるらしいゾ(ちなみにオレの知っているのはどれもオヤジ臭いデザインばかりだ)。これ、ゲルハルトベルガーがつてサインも入っていて、ミハールなオレの心をくすぐる。

アディダスの3本線が入ったシンプルデザイン。バックスキンだから感触もいいゾ。

レーシングシューズは、運転しやすけれど歩きづらい。バスケットシューズは歩きやすいけどちょっと運動しづらい。
「バスケットシューズとレーシングシューズのええとこだけ合体したスーパーシューズはでけんかなあ」と思ったトライアルのマツキ牧原が開発したのがこのシューズ。しかし、マツキ牧原はチューニングカーを作るのは得意だけど、クツ屋さんではない。で、世界の一流ブランドアディダスとの共同開発をした、というわけだ。

レーシングスーツに合わせてレッドをセレクトしてみました(モノクロだけど)。この場合はスタイルよりも機能性だけど、これも同類ナシ/今では超お気に入りサ!

そして完成したスーパーシューズ、見たところはなじみのアディダスのスニーカーだけど、随所にテストドライバーでもあるマツキ牧原のアイデアが隠されている。

例えばクルマに乗ると、もの凄く痛んでしまうかかとの部分は、ソールをグッと持ち上げて保護されているし、素材も通気性や柔らかさを重視したバックスキンが選ばれているのである。

まず、ストリートで履いてみたが、普通のスニーカーとなら変わらない快適さ。それどころかスニーカーコレクター(これが実際にいるんだよ)のT氏に話せると、「もしかしてこのファーストモデルは将来貴重になるかもよ」というくらいのおしゃれさなのだ。

続いてサーキットでもチェックしてみたのだが、これが実に快適。フォーミュラではちよつと底の幅が広いかもしれないけど、ハコ車なら全然問題ナシ。実を言うと、念のため(念のためとはどういうことや!! ヨッチイはどうもオレのことを信用してないような付き合い方考えさせてもらおうワ……マツキ牧原注)に普通のレーシングシューズも持って行ったのだが、もちろん出番はナシ。

行きも帰りもずつとスーパーシューズのままだったのである。
こんなにお得なスーパーシューズは、もうすぐ他のカラー(現在はレッド&ブルーのみ)と女性用サイズも発売予定となっているので、サーキットやストリートで、彼女とペアなんてものいいかも?

街中でも歩きやすく、オシャレでもびくともしないスニーカーシューズ、こりやもう走り屋の必需品かもよ?

(ヨッチイ吉村)

赤マル NEWGOODS



タウンウエアと合わせるとこんな感じ。ほらモラルを除けばカッコイイだろ?



街中でも歩きやすく、オシャレでもびくともしないスニーカーシューズ、こりやもう走り屋の必需品かもよ?

★TRUST GReddyRX

SPECIFICATION	
チューニングコンセプト	スーパー3速ドリフトマシン
エンジン形式	RB26DETTRトヨタ5A75PL
排気量	2000cc
最大パワー(GPM)	275.4ps/5000rpm
トルク	1.8kg-m/3500rpm
最大ブースト	1.5kg/cm ²
ブレイクコンローラー	TVE L25
ウエイストゲート	GReddyレーシング
エアロ	GREX
エアロプロダクト	GREX
タイヤ	GREX 245/35 ZR17 17インチ
サスペンション	GREX
ブレーキ	ブレーキ
ステアリング	GREX 40mm
ボディ	GREX 12.5mm
ホイール	255mm x 17インチ
ボディカラー	GREXレーシング
インテリア	GREXレーシング
オーディオ	GREX 100W
ナビゲーション	The TRUST RX
その他	GREX 5速ドリフトマシン
マフラー	TRUST 5速ドリフトマシン
タイム	2分08秒80
ドライバー	小林 "イリノ" 且雄
走行距離	1,178km
走行時間	1.5時間
走行回数	1回
走行場所	鈴鹿サーキット
走行日時	1994年10月29日
走行コース	鈴鹿サーキット
走行距離	1,178km
走行時間	1.5時間
走行回数	1回
走行場所	鈴鹿サーキット
走行日時	1994年10月29日
走行コース	鈴鹿サーキット

RX、まさかの3速敗……
が、あくまでもストリートが前提
リヤシートあり、ボディ補強なしでも
ここまでイける
ポテンシャルには
いつもながら
脱帽だ!

TRUST GReddy RX

タイム：2分08秒80
ドライバー：小林 "イリノ" 且雄
(ドライ/RE710/'94.10.29.)



ツワサのタービン、T78ハイブリッドタービン(価格：25万円)搭載のRXは、相変わらずのパワフルさ。まさにトラストの「すべて」がここに凝縮されているのだ。

らイッてまうで、コレ。しかし、スベアタイヤもないこの場では、どーしよもない。そこで、もしイッてしまった場合でも極力リヤシートを抑えるために、左フロントと左リヤを入れ換える。

「金Qや、イッてももーても当たり前前の状態やけど、そんな時はそんな時や。オマエも男やねんから、性格すえてアタックしてこいッ!」この一瞬にして緊張感が高まるトライアルR。イッキに9秒台に突入する。

一方、RX。ウエイストゲートの不調でブーストが上がり過ぎるといいうトラブルが発生、ピットインでの修理が続く。

このトラブルのためにアタックタイムは刻々と過ぎていってしまふ。が、その後は2分11秒05、2分10秒40、2分09秒95と順調にタイムを縮めていく。が、どーも足まわりセッティングがシツクリとこない。そこで邪道ではあるが(カンプ大川注)、リヤの車高を9mm下げるとイッする。

2分09秒36ノ。そしてクルルルル

金Qよ、死ぬ気で
行ってこい!

ウエイストゲートサウンド高らかにいつものごとくパワフルで、ブルーメタリックのボディを輝かせながらとつともないストレートスピードで疾走するRXは、2分08秒80というスーパーラップをたたき出した。

トライアルRもタイヤにトラブルを抱えながらも2分09秒78というタイムでRXに迫る。

しかし、トライアルRはこのタイムで終わらせなかった。ブーストをそれまでの1.35kg/cm²から1.55kg/cm²へとアップ。ピットアウト、ゆつくりとタイヤを温め最終コーナーをクリア。金Q選手、

★OPTやすのGT-R

SPECIFICATION	
チューニングコンセプト	過激なペリトルキックマシン
エンジン形式	RB26DET
排気量	2000cc
最大パワー(GPM)	275.4ps/5000rpm
トルク	1.8kg-m/3500rpm
最大ブースト	1.5kg/cm ²
ブレイクコンローラー	WIS EVC
ウエイストゲート	WIS EVC
エアロ	WIS EVC
エアロプロダクト	WIS EVC
タイヤ	WIS EVC
サスペンション	WIS EVC
ブレーキ	WIS EVC
ステアリング	WIS EVC
ボディ	WIS EVC
ホイール	WIS EVC
ボディカラー	WIS EVC
インテリア	WIS EVC
オーディオ	WIS EVC
ナビゲーション	WIS EVC
その他	WIS EVC
マフラー	WIS EVC
タイム	2分16秒90
ドライバー	小林 "イリノ" 且雄
走行距離	1,178km
走行時間	1.5時間
走行回数	1回
走行場所	鈴鹿サーキット
走行日時	1994年10月29日
走行コース	鈴鹿サーキット

ライトチューンド
GT-R参考タイム
OPTやすのGT-R

タイム：2分16秒90
ドライバー：小林 "イリノ" 且雄
(ドライ/グローバ/'94.10.29.)



とりあえずはタイムも
決まったものの
何か(?)が足りなく
やっぱりうちよつと
いきたかったなあ

まさに命を賭けての(決して大袈裟ではない)最終アタックへと行く。

いつ爆発してもおかしくないというタイヤ状態、しかしそれを知りつつもアタックを続ける金Q選手を見守るトライアルRスタッフの目前をトライアルRが走り抜ける。タイムは2分08秒60ノ。その後は燃料にバーコレーションが始められてしまい、また、ヘアピンでのシフトミスで一万rpmというオーバードレブも重なり、アタックを終了。怖いぐらいのトライアルRの気合勝ち、コンマ2秒の差でRXを撃墜だ!

★ やすのR 2分16秒90、RX 2分08秒80、そしてトライアルR 2分08秒60と、一番時計は見事、トライアルRがたたき出した

まさに命を賭けての(決して大袈裟ではない)最終アタックへと行く。

いつ爆発してもおかしくないというタイヤ状態、しかしそれを知りつつもアタックを続ける金Q選手を見守るトライアルRスタッフの目前をトライアルRが走り抜ける。タイムは2分08秒60ノ。その後は燃料にバーコレーションが始められてしまい、また、ヘアピンでのシフトミスで一万rpmというオーバードレブも重なり、アタックを終了。怖いぐらいのトライアルRの気合勝ち、コンマ2秒の差でRXを撃墜だ!



今回のRX遠征隊長は、チューニング界の重鎮でもある、ご存じカンパ大川さん。隊の中にも自然と緊張感が高まっているのわかる(でもニコヤカワ)。

ゼ。期待だ

ザ・挑戦ノ大分阿蘇レーシングパーク

次号はいよいよ最終回、ザ・挑戦ノスペシャル、筑波サーキット編だ。RXのタイムに6台ものスペシャルマシン達がザ・挑戦ノRXは約1年前にスリックタイヤでたたき出した自己記録(1分00秒64)を更新できるか? 期待だ





前半はツイストゲートの不調により悩まされ、ブリストが上がり過ぎるといったトラブルが発生してRX。が、素早いピットワークでアタックを再開した。



今回の主役はまさか彼、ワッツやんらしい。トリアルRドライバー、金Q選手。アタック再開。コンセンションを確保して、ゴールの直前にバーストした。

本来の庭、T1での挑戦を
あえて外した
トリアルR。
こんな真剣な
マッキー、
初めて見たぜ!

ザ・挑戦/初登場のトリアルRの本来のテストステージは、T1サーキット英田。足まわりからエンジンセッティングまで、すべてがT1を走るために施されている。

しかも、トリアルRはもちろん、ドライバーの金Q(金久)選手(FJ、FM、そしてF3へとステップアップ、'95年度はN2シリアに挑戦のトリアルRお抱えドライバー。ちなみに、ウンナン(ウツちゃんに似てる)もこの大分阿蘇レーシングパークは初走行セッティングをしつつ、金Q選手の慣熟走行からスタートだ。今回は時間もたっぷりある。じっくりとアタックしていく作戦に出る。

一方、RXも初走行inレーシングパーク。が、ドライバーの且雄選手はドリコンのデモ走行やヨコハマタイヤのイベントなどで走行経験がある(と言っても1〜2度)。しかし、スーパーラップを出さなければいけないというプレッシャーは、当然、いつものことな

がらのしかかっている。

しかも、今回のRX遠征隊長は開発カンパ・ドナドナ平田に代わり、トラスト・カンパ大川、大御所登場。「チューンド」と言うより「レーシング」に近いマシン(JUNスーパーレモンGTR)に苦しくも2連敗のRX……。だからこそ、いつも以上に気合が感じられてしまうのだ。

意外にも低ム路
しかも超テクニカル
走り甲斐があるツ!

F1開催/を目指し造られた旧オートポリス(いまだに各所に名残があるゾ)、現大分阿蘇レーシングパークは、ストレートも約900mとけっこう長い。こんなにダダっ広いんだから、高速型のサーキットなんだろうな。と思いがちなんだけど、実際には30、40Rの低速と、50、60Rなどの中速コーナーが入り混じっているという、とてつもなくテクニカルなサーキットなのだ。

しかも、このタイムアタック専有時間の前枠にはレーシングカートが走行していただに、コースが滑りやすくなっている、というオマケまで付き、初走行の金Q選手はもとより、1〜2度の走行経験があるタケの且雄選手でさえ、

限界アタック前の体慣らしに余念がない。何だか今回のザ・挑戦は、トラスト、トリアルRともいっつも以上に闘士の炎がメラメラと感じられる。これは面白くなりそう。

いよいよアタック!
1発勝負の
繰り返して
コンマ数秒の戦いに
ワックワック!!

まずは、いつものようにライトチューンドGTRの参考タイム用OPTやすのGTRからタイムアタック。

実は出走直前まで、オイルエレメントのトラブルで(予備パーツがない!)あたふたしていたのだが、そのトラブルも解消。が、念入りに油圧をチェックしつつ、前回のT1サーキットからの強い味方、よりサーキット向けのアドバンスローバ(255/40-17)やジーベック製ヘリカルLSDも効きまくりのタイム、2分16秒90をマーク。OPTシルビアが2分20秒87つてのを考えると、ブリスト1・0kg/cmならまあこんなモンかな。

トリアルRは、金Q選手の慣熟走行を終え、ブリストを1・35kg/cmにセット。2分13秒台から10秒台へと徐々にアップさせていく。

が、ここでとんでもないトラブル! その第一発見者はギャラリイしていたHKS関西サービス・公辨向井。「ちょっと牧ヤン、このタイヤ、ヤバイんとちゃう?」左フロントタイヤを見ると、積載トラックに載せる際に付いたと思われる亀裂寸前のキズをサイドウォールに見え。

ザ・挑戦!マシン check!

トリアルGT-R

タイム: 2分08秒60

ドライバー: 金Q憲司
(ドライ/グローバ/'94.10.29.)

チューナー'sキャノンボールも
総合優勝GET!

ツキまくりのマッキーのおモチャ
RXにコンマ2秒突き放す!!

'95年もウチは
このまま
突っ走つたる
デー!



KKK3 K27 MOJタービンを組むトリアルR。T1サーキットをメインにテストが繰り返されたRB26エンジンは約530psを発生、各部にスペシャルパーツが盛り込まれている。



シートはオレンジのカバーも眩しい、シカロSP-R。



インパネ回りもハードに取める。



*トリアルGT-R

SPECIFICATION	
メーカー/モデル	ニッサン/トリアルGT-R
エンジン形式	RB26DET
最大馬力	530ps
タービン	KKK K27 MOJ
トランスミッション	5速MT
駆動方式	FR
サスペンション	ダブル wishbone
ブレーキ	ディスク
タイヤ	255/40-17
ボディカラー	パールホワイト
価格	約100万円
備考	本誌掲載時(2000年)の仕様

CHAPTER 3

女優レース

今年もまたこの季節がやってまいりました。マカオグランプリ

じつは、この取材は例年だとV・O・P Tの姉妹ビデオであるオートスポーツレーシングビデオでF3やグループAを現地に取材に行くついでに「ゴクミちゃんが出てくるから撮ろおっ」って限りなく趣味に近い状態で撮影してたんです。今回はナント「なにいいいっゴクミちゃんだけじゃなく静香ちゃんも出るだろ」とてなことでF3とかはやめちゃって女優レースをメインで撮って来ました。でも去年ケロシンをレポーターにしてひどいことばかりしちゃったんで(美人香港女優にオ○○コを連呼させた)今年も反省のつもりでレポーターをちゃんとした人に換えました。④さんです、ねっ/反省してるでしょボク達!!



静香ちゃん後ろに「憂」な人影が……コワ〜イ!



女優の意地がクラッシュをまねく……「アナタおどきなサイノ」

CHAPTER 4

アムクレイトロー3000

みんな覚えてるか? 前に谷田部で誰でもゼロヨン大会をやったのを、アムクレイトに入りや誰でも参加できた



しかしあの「ありがとう向山泉」の書体が妙に気になるのはボクだけでしょか



やつよ、それが、今回あのF1サーキットのT1でやったんだよ、裏のストレート使って0〜3000mなんだけどこれだけつこうすげえマシンが沢山集まってさ、チューニングのお手本になると思ったからインタビュ〜しんだよ。

CHAPTER 5

フルタイム企画

日本一の優勝男、ケンジ・オカザキのその後が知りたくて、行って来ましたよ。インテアアナポリスのドラッグコース。そこは、40年の歴史を誇る全米一の大イベントUSナショナルス。

やっこさん、やってましたよ相変わらず、バラバラバラドツカーンヒューウってやつを、そしたらナント今やアメリカじゃチャンピオンのジョン・フオースと人気を二分するほどのスーパースターになってましたよ、まったくよくそこまで出世したもんだよね、だつてちよつとパドックを歩くだけでサインおねだりの列が何十メートルもできちゃっててオレ連本当に驚いたよ。アメリカじゃ子供達に大人気の黄色メンタマ号(94年型タジジデイトナ)もますます熱狂されてきて今やクォーターマイル(400m)走るのに4秒台に突入しそうだ。こんなにスゴイ日本人がアメリカで大活躍してるのに案外日本では知られてないのよ、いった

このレーシングスーツこげちゃって真っ黒なのかと思ったらクラッチの粉なんぞって……体に良さそう?



OPTION VIDEO VOL.8

究極のバラエティ 一本下さい

快調撮影中!

今号の話題
ドリキンのヌード
オケツ丸見せスタンド発見
東京オートサロンゲーム、他

1月26日発売!

VHS60分 1980円

*この申込書に申込者名を記入して最寄りの書店にお申込みになる方法がいちばん便利で確実です。
*直送をご希望の方は、ビデオの代金プラス送料1本につき390円を添えて、梯三栄書房・販売部宛にお申込み下さい。(全額・切手も可)

申込書

書店(取次番線)印

年 月 日

申込者の住所↓

申込数

合計 本

梯三栄書房
販売部
TEL.03-3364-3812
FAX.03-3368-1733
〒169東京都新宿区北新宿4-8-16

OPTION VIDEO

新刊 Vol. 33 本
雑誌コード F72013-2
税込価格 1980円

OPTION VIDEO

新刊 Vol. 8 本
雑誌コード F72014-2
税込価格 1980円

ビデオ

氏名 _____

電話() _____

出来立てのホヤホヤ 絶賛発売中!

マニアの一品

VIDEO OPTION

THE EXCITING & ENTERTAINMENT CAR VIDEO MAGAZINE

VHS 75分オーバー 1980円

新刊

VOL.33

決勝当日は、イギリスBBC放送も 取材に来ていたりして 今やとつてもメジャーな『いか天』 もうそろそろ世界大会でもやるかあ……

CHAPTER 1

いか天全国大会 決勝



いつも以上に気合が入るドリキン

おまつとうさんでした。いよいよ、第3回いかす走り屋チームじゃないよ天国(個人)決勝戦の始まりだ。前号で、日本全国から集結したギンタコ職人120人を、バツタ、バツタとぶった切ったドリキン車いるヘッポコ審査員5人は、千歳通の40人を連れて一路温泉旅館に引率できたのは、ナント夜8時を過ぎていた。

「ア、疲れたあ、今夜は全員でトドンドンバンバンやって、とつとと寝よう」と思っていたが、当のタコチャン達は「地元の時キック挨拶バ行つてきますトデスクライ」と、とっても重症者だった。そんな元気な音に編集部から人間爆弾をお見舞いしてあげることになった。その名も、元祖うわさ

CHAPTER 2

キャノンボール

あのデジロウさんがまたやっちゃったのよ、アレを、それ、キャノンボールを、しかも日本列島一周だもの、こりやまたオプションが社会問題になっちゃうぞお、と思いきや、これが、ウマイこと考えてあつて、みんな捕まれないようになってんだよ、詳しくはビデオで紹介するけど本当に楽しかったね、そして、これだったら安全にしかもその気になりや誰でも友達同志で楽しくできんだよキャノンボール。それと腕とマシンに自信があるヤツらが集まれば写真のように毎晩盛り上がるのと確実だしね。

今夜はとつても腰が軽くなっちゃうんだよなあこの人達、このエンタリリストを見た我々V-OPTは、おやじ達がきつと何かやってくれると読んでオプション本誌とは一味違った切り口で取材してきたから笑っちゃうぞ。



夜、チューニングについて真面目に語り合うの図



内容は予告なく大変更されることがよくあります。ご了承下さい。